

# 分校だより

## 卒業式特別号

君と寄り添って 悲しみの夜を 悲しみの夜を 悲しみの夜を  
 支え合えた日々と 温かな君の笑顔に ありがとう

地域と共に歩む  
 大曲農業高等学校太田分校  
 TEL 0187(88)1311  
 FAX 0187(86)9035

●三月三日(木)、卒業証書授与式を午後から執り行いました。今年も感染症拡大防止のため、卒業式は保護者のみの参加と致しました。来賓は卒業学年のPTA役員のみで、在校生も参加し、できるだけ今までのおりに近い式典で卒業生を送り出すことができました。午前には、同窓会入会式と授賞式も行いました。卒業生が校舎をあとにする姿を見て「無事に卒業式を実施できて良かった」という思いでした。

思い出を胸に、新たな世界へ！

### 卒業証書授与式



### 新たな旅立ち 第45期卒業生



### 【送辞】

朝晩はまだ冷え込みますが、昼間の太陽に春のうらかな陽気を感じる季節となりました。本日、大曲農業高等学校太田分校を卒業される三年生の皆様ご卒業おめでとうございます。皆様は、今、高校生活の三年間を振り返りどのように感じているのでしょうか。

二年前の私たちは新しい友達や環境の変化に戸惑い、不安な気持ちで入学してきました。高校生活に慣れない私たちに先輩方はとても優しく接してくださいました。そのおかげで不安な気持ちはなくなり、楽しい高校生活を想像できるようになったことを覚えていました。

今年も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で昨年よりも多くの行事に影響が出てしまいました。規模の縮小や感染防止対策を徹底した行事の数々、紅葉祭やグラウンド・ゴルフ大会のように計画通りにいかなかった行事もありました。しかし、生徒会を中心に、臨機応変に動いてくださったおかげで運動会やHRR対抗、全校民謡発表会などの各行事を無事実施することが出来ました。その中で一番心に残っている行事はHRR対抗・球技大会です。新型コロナウイルスの影響で延期になり、私たち二年生の新生徒会が主となった初めての行事でした。先輩方に頼りきりだった私たちは上手くできないことばかり無事にHRR対抗・球技大会を終えることができました。

このように先輩方は常に私たちの上に立ち目標となる存在でした。皆様から積極性、企画性、実行力などたくさん大切なことを学ばせていただきました。そんな皆様のご太田分校を卒業していきたく思っています。寂しさが込み上げてきます。これから皆様は自分の選んだ夢に向かってそれぞれが歩んでいきます。それぞれが違う道に進んでも、ここ太田分校で過ごした日々が無くなる訳ではありません。学び、笑い、時にはぶつかりながら、色々な壁を乗り越えてきた皆様にとって大きな財産になっていることは間違いないと思います。身につけた知識や表現力、そして先生方からの教訓が社会人になっても背中を押してくれるはずですよ。どんなに辛いことがあっても、諦めずに頑張ってください。

令和四年三月三日

在校生代表

津嶋 杏輔

### 【答辞】

まだちらちらと雪が降りますが、日に日に木の芽も膨らみを増してきました。本日は、私たちのためにこのような卒業式を挙げて頂きました。卒業生を代表して御礼申し上げます。感染症拡大などで大変な世の中ですが、十三名がこうして無事卒業式を迎えられ、嬉しく思います。

思えば初めてこの太田分校の門をくぐった三年間は、とても短かったように思います。そんな時間の中にも様々な思い出がありました。三年前の四月、期待と不安が入り混じった中で迎えた入学式。生徒会入会式では、この体育館で新入生代表として挨拶をしました。中学校時代の同級生や先輩も多く安心もありました。新しい学校生活に馴染めるのだろうか不安も感じていたことを覚えています。

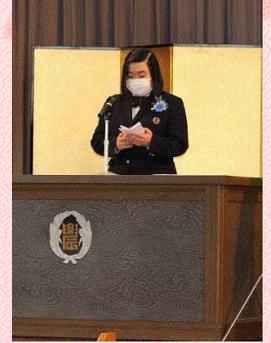
初めての行事に参加したときも、クラス内での温度差があったとまでは思いません。誰かがわからないことだらけで戸惑いがあったんだと思います。そんな私たちが、トラブルが多く先生方に迷惑をかけてばかりでしたが、毎日協力し合えるようになり、全員の仲良くなれるだろうと思っていました。

しかし、一年の三学期、それは突然やってきました。新型コロナウイルス感染症が広がる全国の学校が一時休校する事態になりました。行事も例年通りとはいかず、不安を感じる学校生活が始まりました。その後も新型コロナウイルスの感染拡大で私たちの高校生活は大きく変わって行くことになりました。一番楽しみにしていた関西方面への修学旅行も中止になってしまいました。この状況では仕方ないと思いつつも、大変なショックを受けました。制限のある生活も二年目となり、今年度の紅葉祭は公開せずに生徒と先生方のみで行われ、グラウンド・ゴルフ大会は中止となりました。ここまで感染が拡大することへの不安や憤りを感じた人も多いと思います。多くの人から、残念だったねや、かわいそうと声をかけられました。私ももし新型コロナウイルスがなかったらと思つたことは一度や二度ではありませんでした。しかし、そのことで学校生活の輝きや色あせることはありませんでした。こんな毎日だったからその思い出もたくさんできたと感じています。

卒業までの日数も少なくなり、これまでを振り返る機会が増えましたが、三年間で印象深い行事についてクラスメイトに尋ねると、たくさんの返答がありました。一年生の時のお豆腐作りや、グラウンド・ゴルフ大会、そして修学旅行の代わりに行われた遠足、一度延期になった三年次のHRR対抗などです。遠足は、男鹿方面に行きました。宿泊も一日だけでしたが、水族館に行ったり、石焼き鍋を皆でいただいたり、午後はなまはげ館にも行きました。当初の計画通り関西方面に行きたかったという思いもありましたが、県内でも皆で楽しい時間を共有できました。帰りのバスはほとんどの人が疲れて寝ていました。最後のHRR対抗は、皆が全力で楽しんでいきました。勝ち負けとかではなく、楽しめれば良いと思つていた人が大半だったからなのだと思います。私は、良い仲間を持ったと思つています。新型コロナウイルスでやりたくないことが多くなった部分もありますが、毎日皆が登校して、些細なことでも笑っている空間がとても好きでした。数年後、成長した皆と再会し、今と同じ語り合える日がまた来るのを楽しみにしています。

在校生の皆さん、四月からは上級生としての生活が待っています。学校行事の企画運営や、進路選択、悩むことも多くなると思いますが、一人で悩まず、友達や先生方に相談してください。皆さんを見捨てる人なんてこの学校にはいません。更に、素晴らしい学校になることを陰ながら祈っています。これまで私たちが温かく見守ってくださった地域の皆さま、ともに喜び、時に厳しく叱って私たちに導いてくださった先生方、今までも本当にありがとうございました。そして、これまで育ててくれた家族へ。どんな時も私たちに励まし、寄り添い、不安を和らげてくれた家族へ。どんな時も私たちに嬉しかったです。普段は照れくさくて言えないけれど、いつも感謝しています。私たちが少しずつ自立していきたくはありますが、いっしょに元気を離れたいと思います。私たちが、それまでもうしばらくはよろしくお願ひします。

最後にありますが、高校生活を支えてくださった方々へ、改めて感謝を申し上げます。今後の太田分校のますますの発展を祈り、答辞とさせていただきます。



令和四年三月三日

卒業生代表

細川 柚衣

こちらのQRコードから、卒業式の様子をご覧ください

